

令和4年度仙台市障害福祉分野のICT導入モデル事業

事業所名	LEIF東仙台
------	---------

(1) ICTの導入を計画した分野

記録の電子化に係る取組	導入機器	パソコン・wi-fi設備
-------------	------	--------------

(2) 事業所が抱えていた課題（ICT導入により解消した課題）

パソコンの台数が限られていることにより支援記録の記入や事業所の運営・管理業務全般において非効率な状況が生まれていたが、パソコンの1人1台の支給により、支援記録の記入やその他作成物の作成において、事務作業の効率化を図ることができた。

また、限られた台数のパソコンを職員内で使いまわすことがなくなったことにより、新型コロナウイルス感染リスクも軽減することにつながっている。

パソコンの増台に合わせてwifi環境も整えたことで、通信速度の安定化も図ることができている。

(3) ICTを導入した業務内容（概要）

1人1台のパソコンを使用することで、利用者の台帳管理、日々の支援記録の記入、利用スケジュール調整、請求を含めた管理業務全般、をすでに導入済みの業務支援ソフトを通して効率良く進めることができ、生産性の向上につながる。

また、人数に合わせたWi-Fi環境を整えることで、円滑な業務遂行につなげる。

(4) ICT導入前の定量的指標及びICT導入により測定された定量的指標

① 前記2（3）に係る業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		B. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 C (A×B)			1人あたり業務時間 (C/業務従事者数)
		月	A.年間発生件数					
支援記録の作成	7人	300件	3,600件	20分	1,200時間			171時間
		300件	3,600件	20分	1,200時間			171時間

② ICT導入後の前記2（3）に係る想定業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		B. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 C (A×B)			1人あたり業務時間 (C/業務従事者数)
		月	A.年間発生件数					
支援記録の作成	7人	300件	3,600件	10分	600時間			86時間
		300件	3,600件	10分	600時間			86時間

年間業務時間数想定削減率 (%)

50.0%

(5) 想定削減率が20%を超えた要因

限られた台数での支援記録の記載ではなく、1人1台パソコンを所持した上での支援記録の作成により、全体の支援記録作成に係る時間を含め、事務作業の時間が大幅に削減された。

(6) ICTの導入により得られた効果や今後の生産性向上に係る取組への展望等

支援記録の記入を含めた事務処理の時間が大幅に削減されたことで作業が効率化され、支援に係る職員間でのモニタリングやカンファレンスに時間を費やすことができ、生産性の高いより良い支援につなげていきたい。